RMX90DVS

DIGITAL CLUB MIXER WITH DVS-INTERFACE FOR SERATO DJ
8 IN / 8 OUT with 24-bit

CE

注意！
火事や感電の原因になるので、本機器を水や液体に触れないようにしてください。また。本機器を分解しないでください。

www.reloop.com

Reloop Trademark
Global Distribution GmbH
Schuckertstr. 28
48153 Muenster / Germany
Schuckertstr. 28

© 2016

dirigent.jp

株式会社銀座十字屋
ディリゲント事業部

目次

安全上の注意 3
規則に従った使用方法について 3
メンテナンス 3

1. 概要 4
1.1 外観 4
1.1.1 トップパネル 4

1.2 各部の名称 5
1.2.1 入力チャンネル 5
1.2.2 MICチャンネル 5
1.2.3 ヘッドフォン・セクション 5
1.2.4 マスター・セクション 5
1.2.5 エフェクト・セクション 5
1.2.6 ディスプレイ・セクション 5
1.2.7 接続部 5

1.3 接続部の説明 6
1.3.1 LINE入力 6
1.3.2 PHONO入力 6
1.3.3 マイク入力 6
1.3.4 ヘッドフォン 6
1.3.5 フェーダー・スタート 6
1.3.6 マスター出力 6
1.3.7 モニター出力 6
1.3.8 REC出力 6
1.3.9 電源入力 6
1.3.10 USB接続ポート 6

2. 基本操作 6

2.1 電源のON / OFF 6
2.2 入力の選択 6
2.3 ゲイン 6
2.4 EQ（イコライザー） 6
2.5 フィルター 6
2.6 ボリューム・フェーダー 6
2.7 クロスフェーダー 6
2.8 フェーダー・スタート / クロスフェーダー・スタート 7
2.9 MIC / Aux 7
2.10 モニタリング 7
2.11 マスター・セクション 7

3. エフェクト・ユニット 7
3.1 概要 7
3.2 エフェクトの選択、ルーティング 7
3.3 エフェクターの種類 7
3.3.1 Flanger 7
3.3.2 Delay 7
3.3.3 Echo 7
3.3.4 Reverb 7
3.3.5 Transformer 7
3.3.6 Pitch Shift 7
3.3.7 Loop Roll 7
3.3.8 Reverse Loop 7
3.3.9 Noise 7
3.3.10 Bit Crusher 7
3.3.11 Gate 7
3.3.12 Tape Delay 7

4. ビート・カウンター 8
4.1 Cue ビート・カウンター 8
4.2 チャンネルエフェクト・ビート・カウンター 8

5. セットアップ・ユーティリティ 8
5.1 メニューの構造 8
5.2 エフェクトの選択、ルーティング 8
5.2.1 エフェクターの種類 8
5.2.2 Limiter 8
5.2.3 USB Out 8
5.2.4 Filter Response 8
5.2.5 Cue Set 8
5.2.6 トークオーバー 8
5.2.7 アイソレーター・クロスオーバー 8
5.2.8 MIC ブース 8
5.2.9 MIC Low Cut 8
5.2.10 ブースソース 8
5.2.11 AUXゲイン 8
5.2.12 MIDI オン/オフ 8
5.2.13 MIDIチャンネル 8
5.2.14 MIDI信号のタイプ 8
5.2.15 LEDチェック 8
5.2.16 ファクトリー・リセット 8
5.2.17 ファームウェア・アップデート 9
5.2.18 バージョン確認 9
5.2.19 Exit 9

6. Serato DJ と接続する 9

7. 技術仕様 10

8. MIDI MAP 11

9. 製品サポートについて 12

日本語マニュアル

この度は、”Reloop RMX-90 DVS”をお買い上げいただき誠にありがとうございます。並びに弊社のDJテクノロジーに信頼を置いていただきありがとうございます。本機を使用する前に、この取扱説明書をよく読み、すべての指示に従って操作いただけますようお願いいたします。パッケージからReloop RMX-90 DVS を取り出し、製品を使用する前に製品の破損や欠品をが無いことをご確認ください。電源ケーブルや、筐体に損傷があった場合は、製品を使用せずに、ご購入いただいた販売店にご連絡ください。

安全上の注意

警告!
電源ケーブル(100-240 V、50/60Hz)を取り扱うときは十分にご注意ください。この定格電圧は深刻な感電につな がる可能性があります。取扱説明書の定める使用方法を遵守されない場合の損害はいかなる補償請求も対 象外とします。メーカーは、資産に対する損害、または安全上の指示を遵守しない不適切な使用による人身損害の責任を負いません。

- 本製品は完全な状態で工場を出荷しています。この状態を維持してリスクのないオペレーションを確実にす るためにユーザーは、この取扱説明書に記載されている安全に関する指示と警告を読む必要があります。

- 安全性と認可(CE)の理由から、本製品の未許可の改造、修正は禁止されています。本製品の未許可の 修正に起因する損害の場合、どのような保証請求も除外される点にご注意ください。

- 外部から交換可能な消耗部品を除いて、製品の内部はメンテナンスを必要とするパーツはありません。 資格を有するスタッフがメンテナンスを行なう以外は、保証が適用されません。

- ヒューズは、同じクラスのヒューズと交換しなければなりません。

- 本製品を完全にセットアップしたあとに、電源が供給するだけの状態であることを確認してください。常にメインプラグを最後に接続してください。製品に電源ケーブルを接続する際にメインスイッチが「オフ」の位置にあることを確認してください。

- 規格に準拠したケーブルのみをご使用ください。すべてのジャックやネジが締められ、正しく接続されていることを確認してください。ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店にご確認ください。

- 本製品をセッティングする際に、ケーブルが鋭い物によって押しつぶされ、損害を受けないようにご注意ください。

- ケーブルが他のケーブルと接触しないようにご注意ください。電源ケーブルを接続する際は、十分にご注意ください。濡れた手でこれらのパーツに決して触れないでください。

- 電源ケーブルは、耐震性のある電源コンセントに接続してください。使用可能な電源供給器は、公共の電源供給ネットワークの仕様に適合した電源コンセントです。

- 使用しない場合、また掃除を行う前には本製品を電源コンセントから外してください。その際、必ずケーブルのプラグを持つようにしてください。ケーブルを持って引き抜かないようにしてください。

- 本製品は、水平の安定した不燃性の高い場所に設置してください。

- 本製品を設置し、操作を行う場合には、激しい衝撃を与えないでください。

- 設置する場所は、本製品が過度の熱、湿度、ほこりにさらされない場所に設置してください。ケーブルが煩雑に置かれていないことを確認してください。上記を守れない場合、使用者を危険にさらす場合があります。

- 本製品の上に液体をこぼしやすい容器を置かないでください。万が一、液体が本製品内にこぼれた場合、直ちに電源プラグを抜いてください。再度使用する場合には、資格のあるサービス技術者によって確認された製品をご使用ください。製品内部への液体の混入による損害は保証の対象外となります。

- 極端な高温(35°C以上)、または極端な低温(5°C以下)で本製品を使用しないてください。直射日光、ラジエーター、オーブン(閉じられた車内も含みます)などの熱源に直接触れるような場所に本製品を置かないでください。冷却ファンや通気孔をふさがないでください。常に十分な換気を確保してください。

- 本製品は、暖かい環境から冷えた環境に移動した直後に動作させないでください。この状況で起こる結露によって故障の原因となります。周囲の温度に達するまで電源を入れずにお待ちください。

- コントロールやスイッチには、クリーニング剤や潤滑油などのスプレーを使用しないでください。本製品は湿っ た布できれいに拭きとるだけにしてください。クリーニングのために石油ベースの溶剤や、洗浄液を使用しないてください。

- 本製品を移動や、輸送する際、購入時に梱包されていた箱をご使用ください。

- 本機の操作を開始するときに、アンプのフェーダーや、ボリュームコントロールが最小レベルになっていることを確認してください。パワード・スピーカーの電源スイッチは“オフ”であることを確認してください。一時的な 影響で起こる場合のあるショットノイズよりスピーカー等の機器の破損を避けるために 8 ~ 10 秒間程度待 ってからボリュームを上げてください。

- 電気を供給される本製品は小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。また、お子様のいる環境 下でのご使用には十分ご注意ください。

- 商業的な施設でプロフェッショナルな組織のオーガナイズによる事故防止のための規則を遵守しなければなりません。

- 学校、トレーニング施設、趣味、ワークショップなどで本製品を使用する際は、訓練されたスタッフの責任を持って監視する必要があります。

- 後に質問や問題が発生した場合、参照するためにこの取扱説明書を安全な場所に保管してください。

規則に従った使用方法について

- 本製品は、オーディオ信号を入力、ミキシングするための DJ ミキサーです。本製品は、入力ソースとオーディオケーブルで接続されなければなりません。
- 本製品は、付属の電源アダプタを介して 100~240V、60/50Hz の AC 電源に接続するために認可されており、室内使用専用に設計されています。
- 取扱説明書に記載されている目的以外のために本製品を使用する際、製品に損害が起こる場合があり、それは保証の対象外となります。また、指定した目的に準拠しない使用方法ではサーキットのショート、火災、電気 ショックなど、危険を伴う場合があります。
- メーカーによって決められているシリアルナンバーは、保証の権利を証明するために大切に保管してください。

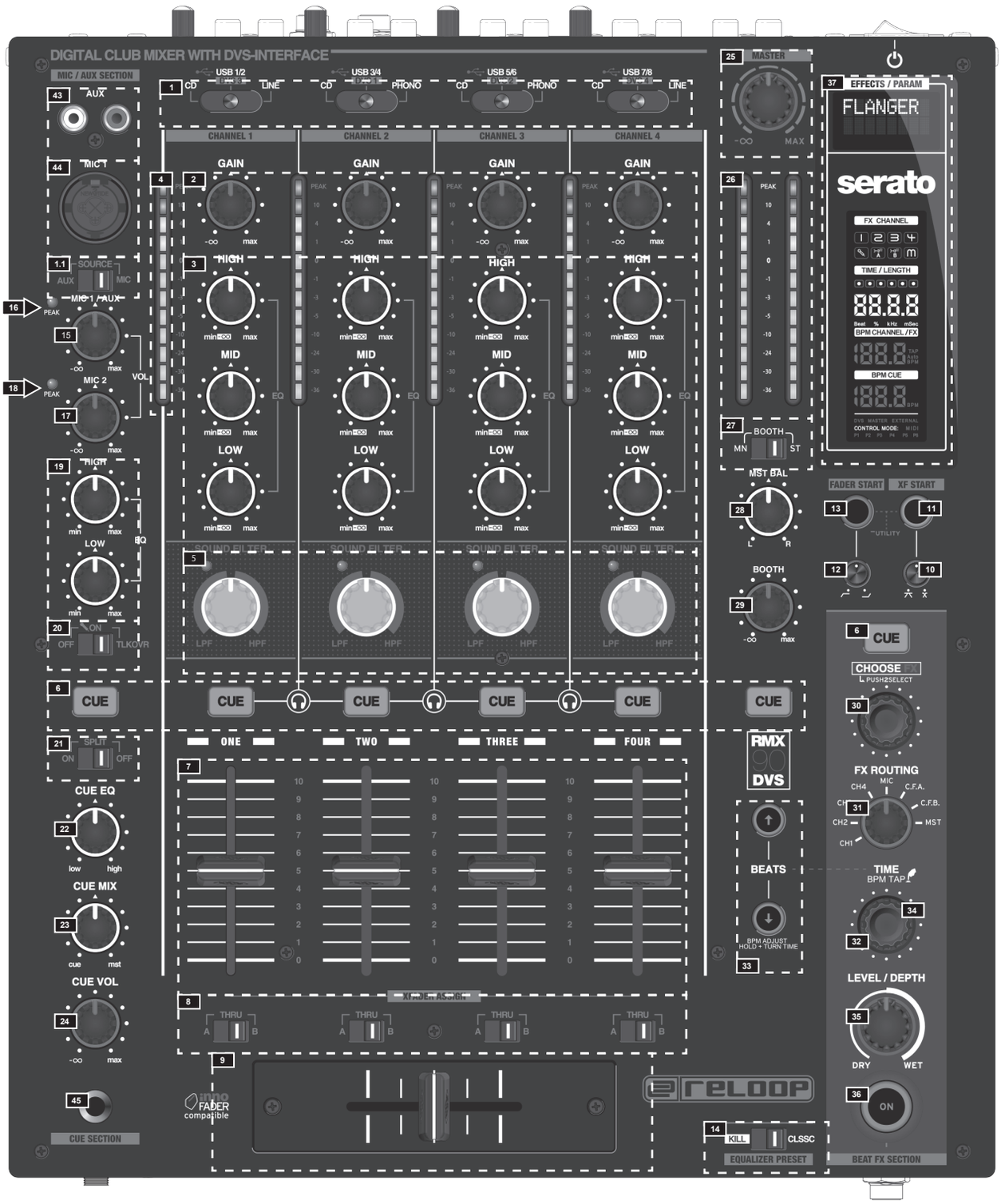
メンテナンス

定期的に電源ケーブル、またはケースへの損害、ならびに本体のパーツ (ノブ、スライダーやフェーダー)、製 品への取り付けに関する技術的な安全をチェックしてください。
安全な操作が可能ではないと仮定される状況下では、直ちに本製品の使用をやめ、安全を確保してください。常に電源プラグを電源コンセントから外してください。
本製品が、好ましくない状況下、または輸送ストレス後の長期間保存によりデバイスが機能していない、また は目に見える欠陥を負った場合、安全な操作は不可能だと仮定しなければなりません。

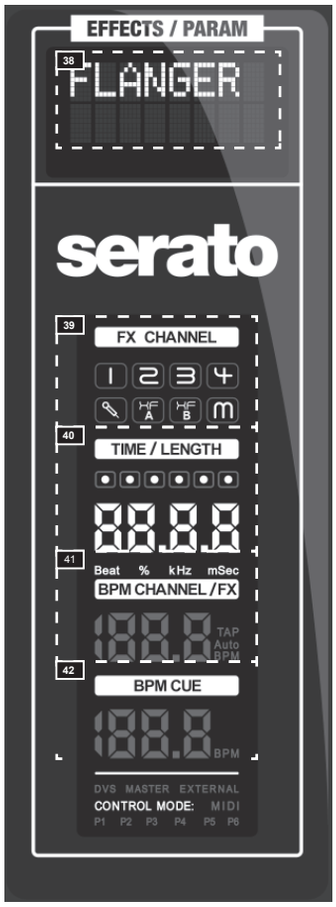
1.概要

1.1 外観

1.1.1 トップパネル



1.1.2 ディスプレイ



1.2 各部の名称

1.2.1 入力チャンネル

1. インプット・セレクト(Phono / USB / CD/Line)
2. ゲイン
3. 3バンド EQ
4. レベルメーター（入力信号）
5. フィルター・ノブ
6. CUEボタン(モニタリング)
7. ボリューム・フェーダー
8. クロスフェーダー・アサイン・スイッチ
9. クロスフェーダー
10. クロスフェーダー・カーブ調整
11. クロスフェーダー・スタート・スイッチ
12. ボリュームフェーダー・カーブ調整
13. フェーダー・スタート・スイッチ
14. EQカーブ・スイッチ

1.2.2 MICチャンネル

15. MIC 1 / AUX ボリューム
16. ピークLED（Mic 1 /AUX)
17. Mix 2 ボリューム
18. ピークLED（Mic 2 /AUX)
19. 2バンドEQ（Mic 1 / 2）
20. Mic オン/オフ・スイッチ

1.2.3 ヘッドフォン・セクション

21. スプリット・スイッチ
22. モニタリングEQ
23. CUE / MIXノブ
24. CUEボリューム（ヘッドフォンの音量調整）

1.2.4 マスター・セクション

25. マスター・ボリューム
26. マスター出力レベルメーター
27. モノラル/ステレオ切替・スイッチ（ブース出力）
28. バランス・ノブ（マスター出力）
29. ブース・ボリューム

1.2.5 エフェクト・セクション

30. FX選択・ノブ
31. FXチャンネル・セレクト
32. タイム・エンコーダー/ タップ・ボタン(BPM)
33. タイム・バー・ボタン（ + ）
34. タイム・バー・ボタン（ - ）
35. FXレベル/デプス・ノブ
36. FXオン / オフ・スイッチ
37. ディスプレイ

1.2.6 ディスプレイ・セクション

38. FXディスプレイ
39. FXチャンネル・ディスプレイ
40. FXタイム・ディスプレイ
41. FX BPM・インジケーター
42. BPM CUE・インジケーター

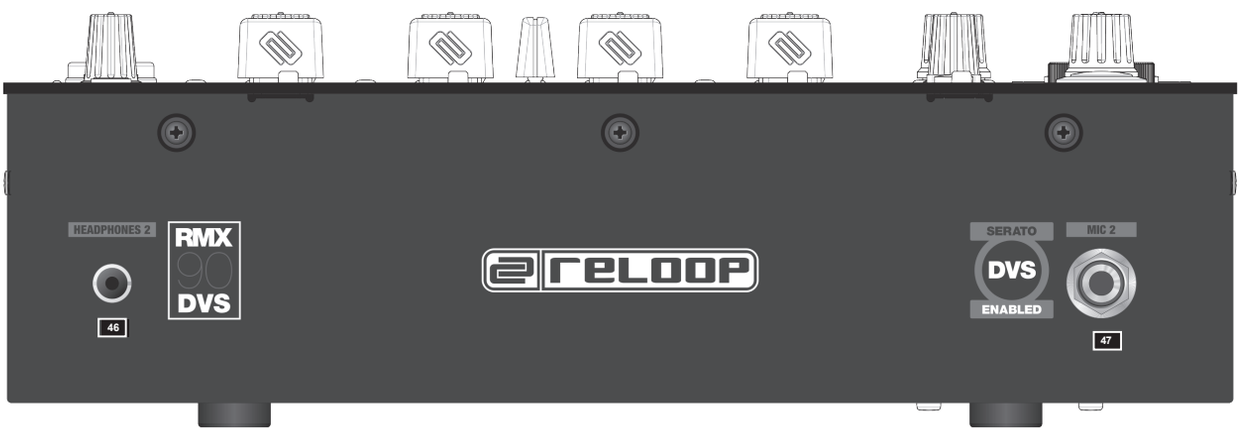
1.2.7 接続部

43. AUX入力（RCAピン)
44. MIC 1入力（標準フォン / XLR）
45. ヘッドフォン出力端子1（6.3mm）
46. ヘッドフォン出力端子2（3.5mm）
47. MIC 2入力（標準フォン）
48. 電源ケーブル入力端子
49. マスター出力端子（RCAピン)
50. マスター出力端子（XLR)
51. ブース出力端子（標準フォン)
52. REC出力端子（RCAピン)
53. チャンネル入力端子（RCAピン)
54. アース端子
55. フェーダー・スタート入力端子

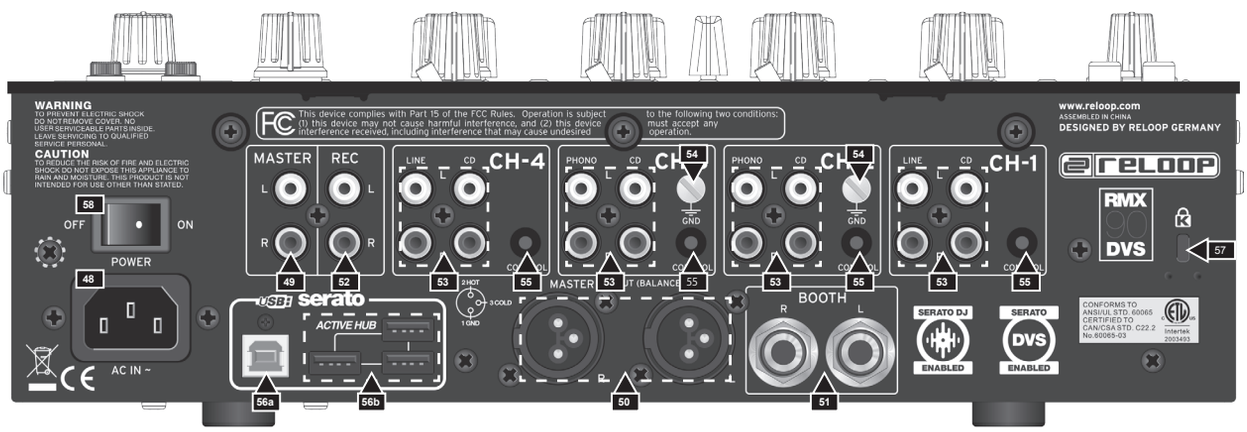
56 a. USB ポート
56 b. USB ハブ

57. 盗難防止ワイヤー接続スロット
58. 電源オン/オフ・スイッチ

1.1.3 前面パネル



1.1.3 背面



1.3 接続部の説明

1.3.1 LINE入力
チャンネル 1 - 4に、LINE出力（CDプレイヤー、DJコントローラー等）のソースを接続します。- 53 -

1.3.2 PHONO入力
チャンネル 2 -3 に PHONO出力（ターンテーブル）の機器を接続します。 - 53 -
機器によっては必ずアース端子 - 52 - にアース線を接続してください。

1.3.3 マイク入力
マイクを MIC 1 入力 - 44 - に入力します。　　マイクを MIC 2 入力 - 47 - に入力します。

1.3.4 ヘッドフォン
ヘッドフォンをヘッドフォン出力端子 - 45 - または - 46 - を接続します。

1.3.5 フェーダー・スタート
CDプレイヤーのフェーダースタート・ケーブルをフェーダースタート入力端子 - 55 - に接続します。

1.3.6 マスター出力
マスター出力 - 49 - (RCAピン) または - 50 - (XLR）にオーディオケーブルを接続し、サウンドシステムと接続します。

1.3.7 モニター出力
ブース出力 - 51 - にオーディオケーブル（標準フォン）を接続し、モニタリングシステムと接続します。

1.3.8 REC出力
REC出力端子 - 52 - にレコーディング機器をオーディオケーブル（RCAピン）で接続します。　信号レベルはマスター出力とは独立しています。

1.3.9 電源入力
付属のACアダプタを 電源アダプター入力端子 - 48 - に接続します。

1.3.10 USB接続ポート
コンピュータと接続するために USB Bポート - 56a - とUSBケーブルを接続します。

2 基本操作

2.1 電源のON/OFF
ボリューム・フェーダーや外部アンプ、スピーカーの音声が下がっていることを確認して、電源スイッチ - 58 - を入れます。

2.2 入力の選択
インプット・セレクト - 1 - で利用する音源ソースを選択します。

2.3 ゲイン
音源ソースを再生し、ゲイン - 2 - を回します。レベルメーター - 4 - が赤色にならないように調整します。
Mic / AUX ボリューム - 15 / 17 - の場合は、ピークLED - 16 / 18 - が点灯しないように調整します。

2.4 EQ（イコライザー）
3バンドEQ - 3 - ノブを使って、ch1 - ch4の音質を 高域(HIGH）、中域（MID）、低域（LOW）で調整します。

2.5 フィルター
フィルター・ノブ - 5 - を使って、ch1 - ch4にフィルターを適用します。12時の方向でフィルターが無効になります。
時計回りでハイパス・フィルター、反時計回りでローパス・フィルターになります。

2.6 ボリューム・フェーダー
ボリューム・フェーダー -7 - を使って、ch1 - ch4の出力する音量を調整します。
ボリューム・フェーダーのカーブは カーブ調整 - 12 - を使って調整します。12時の方向がフェーダーと音量が同期した状態になります。

2.7 クロス・フェーダー
クロス・フェーダー - 9 - は ch1 / ch2のデッキ間をフェードすることができます。クロスフェーダー・アサイン・スイッチ - 8 - で各chのクロスフェーダーへの割当を設定できます。
カーブ調整 - 10 - を使って、フェーダーのカーブを調整することができます。スクラッチプレイを行うは、左回り。ロングミックスを行う場合は右回りがよいでしょう。
尚、本機はReloop RMX Inno Faderに対応しているので、スクラッチプレイを多用される方は RMX Inno Faderへの交換をお勧めします。

注意：THRUが選択されているときは、クロスフェーダーは割当てられません。

2.8フェーダースタート / クロス・フェーダースタート
対応するCDプレイヤーをお持ちの場合は、専用ケーブルを 端子 - 9 - または - 7 - に接続し、スイッチ - 13 - または -11 - が有効になっているときに、フェーダースタート/クロスフェーダー・スタートが開始されます。

クロス・フェーダースタート：
クロスフェーダーを左に切ってある状態では、クロスフェーダー “A” にアサインされたCDプレイヤーが再生され、”B”に接続されたCDプレイヤーはキューポイント待機または停止します。
クロスフェーダーを右に切ってある状態では、クロスフェーダー “A” にアサインされたCDプレイヤーが再生され、”A”に接続されたCDプレイヤーはキューポイント待機または停止します。

フェーダースタート：
ボリューム・フェーダーを一番下に切ると、CDプレイヤーがキューポイント待機または停止します。
ボリューム・フェーダーを上に切ると、CDプレイヤーが再生します。

注意：
CDプレイヤーによって、フェーダースタート機能の使い方は様々ですので、それぞれのマニュアルもご参考ください。

2.9 MIC / AUX
Micオン/オフ・スイッチ- 20 - で、Mic入力に接続したマイク入力信号を有効します。
ボリュームはMix / Auxボリューム - 15 - / - 17 - で調整することができます。

2.10 モニタリング
CUE ボタン - 6 - を押すと、選択したチャンネルのモニタリングをします。
CUE / MIX - 23 - のノブで、マスター出力とCUEボタンを押したチャンネルの音量バランスを調整します。左方向に振ると選択されたチャンネルの信号がヘッドフォンに出力され、右方向に振るとマスター出力の信号がヘッドフォンに出力されます。ミックスされる結果を予め試聴する場合は、ノブを12時方向にすると良いでしょう。
CUE EQ - 22 - でヘッドフォンの音質を調整できます。 CUE ボリューム - 24 - でヘッドフォンの音量調整。
スプリット スイッチ - 21 - でヘッドフォンチャンネルを出力モードにします。

2.11 マスター・セクション
マスターボリューム - 25 - で本機から出力される最終的な音量を調整します。マスター出力レベルメーター -26 - で赤色の範囲まで出力されないように調整すると良いでしょう。
バランス・ノブ - 28 - でマスター出力の左右のバランスを調整します。ブースボリューム - 29 - でDJブース内の音量を調整します。

注意：Rec出力 - 52 - にはマスターボリューム、ブースボリュームは影響しません。

3 エフェクト・ユニット

3.1 概要

本機には下記のDSPエフェクトが搭載されています。パラメータは LCDディスプレイ - 37 - に表示されさます。
Flanger、Delay、Echo、Reverb、Pitch Shift、Noise、Bit crusher、Gate、Phaser

3.2 エフェクトの選択、ルーティング

FX選択・ノブ - 30 - で 任意のエフェクトを選択します。選択されると同時に有効状態になります。

FXチャンネル・セレクト - 31 - で、エフェクトを割当てるチャンネルを(1、2、3、4、Mic、CF A、CF B、マスター）選択します。
FXチャンネル・ディスプレイ - 39 - にエフェクトを割当てているチャンネルを表示します。
エフェクトを実際に適用するには、FXオン/オフ・スイッチ - 36 - を押し、FXレベル/デプス・ノブ - 35 -で原音とエフェクト音を調整します。

いくつかのエフェクト・パラメーターはタイム・エンコーダー / タップ・ボタン - 32 - で調整するか、タイム・バー・ボタン - 33 - で調整することができます。
パラメーターは ディスプレイ部分に表示されます。

3.3 エフェクターの種類

3.3.1 FLANGER　2つの音声信号の時間を微妙にずらすことで、ジェットサウンドを得ます。

レベル/デプス：原音とエフェクト音の比率を設定します。
タイム・エンコーダー：タイムラグをミリ秒単位で調整。ボタンを押し続けると、50ミリ秒ずつ調整ができます。
タイム・バー・ボタン：拍単位でタイムラグを調整します。

3.3.2 DELAY　原音に対して、エフェクト音を遅らせます。

レベル/デプス：原音とエフェクト音の比率を設定します。
タイム・エンコーダー：タイムラグをミリ秒単位で調整。ボタンを押し続けると、50ミリ秒ずつ調整ができます。
タイム・バー・ボタン：拍単位でタイムラグを調整します。

3.3.3 ECHO　原音に対して、エフェクト音を遅らせて、山びこの様な効果を得ます。

レベル/デプス：原音とエフェクト音の比率を設定します。
タイム・エンコーダー：タイムラグをミリ秒単位で調整。ボタンを押し続けると、50ミリ秒ずつ調整ができます。
タイム・バー・ボタン：拍単位でタイムラグを調整します。

3.3.4 REVERB　原音に対して、残響を加えます。

レベル/デプス：原音とエフェクト音の比率を設定します。
タイム・エンコーダー：残響をシミュレートするルームのサイズを調整します。
タイム・バー・ボタン：仮想のリバーブ・ルームサイズを選択します。

3.3.5 TRANSFORMER　リズミカルに音声をフェード・イン/アウトします。

レベル/デプス：原音とエフェクト音の比率を設定します。100%にすると原音のみになります。
タイム・エンコーダー：音声のフェード・イン/アウトを調節します。
タイム・バー・ボタン：フェード・イン/アウトのタイムラグを拍単位で調整します。

3.3.6 PITCH SHIFT　原音に対して、音程を変更します。

レベル/デプス：このエフェクトでは使用できません。
タイム・エンコーダー：音程を調整します。ボタンを押し続けると、音程をリセットします。
タイム・バー・ボタン：1-1 の時に原音と同じ音程。ボタンを押していくことで、25段階の音程に調整ができます。

3.3.7 LOOP ROLL　予め設定された長さでループ(繰り返し）を作成します。

レベル/デプス：原音とエフェクト音の比率を設定します。100%にすると原音のみになります。
タイム・エンコーダー：ループの長さを1ミリ秒単位で調整します。
タイム・バー・ボタン：拍単位でループを調整します。

3.3.8 REVERSE LOOP　予め設定された長さで逆再生（リバース）のループ(繰り返し）を作成します。

レベル/デプス：原音とエフェクト音の比率を設定します。100%にすると原音のみになります。
タイム・エンコーダー：ループの長さを1ミリ秒単位で調整します。
タイム・バー・ボタン：拍単位でループを調整します。

3.3.9 NOISE　ノイズを加えます。

レベル/デプス：ノイズ量を調整します。
タイム・エンコーダー：LFOの速度を1ミリ秒単位で調整し、揺らぎを得ます。
タイム・バー・ボタン：1-4 の時にLFOが働かない状態。ボタンを押していくことで、LFOの速度を調整します。

3.3.10 BIT CRUSHER　原音を破壊して、意図的にチープなサウンドにします。

レベル/デプス：原音とエフェクト音の比率を調整します。
タイム・エンコーダー：音質を - 100 ～ + 100で調整します。
タイム・バー・ボタン：音質を 一定の単位で - 100 ～ + 100で調整します。

3.3.11 GATE　入力される信号レベルによって、ブツ切りの様な効果を得ます。

レベル/デプス：原音とエフェクト音の比率を調整します。
タイム・エンコーダー：エフェクトが掛かり始める値（閾値）を細かく調整します。
タイム・バー・ボタン：エフェクトが掛かり始める値（閾値）を右図の単位で調整します。

1-4 → -2dB
1-2 → -3dB
3-4 → -4dB
1-1 → -6dB
2-1 → 10dB
4-1 → 20dB

3.3.12 TAPE DELAY　テープディレイの効果を再現します。

レベル/デプス：原音とエフェクト音の比率を調整します。
タイム・エンコーダー：ピッチの量を -100 ～ +100 の間で調整します。
タイム・バー・ボタン：徐々にピッチの量を -100 ～ +100 の間で調整します。

4 ビート・カウンター

本機には2つのビート・カウンターが搭載されています。

4.1 CUE ビート・カウンター

各チャンネルに入力された信号のビートを計測。Cueボタン - 6 - を押すと有効になります。
計測された結果は CUE BPM・インジケーター - 41 - に表示されます。

4.2 チャンネル/エフェクト ビート・カウンター

自動または手動の2つの方法でトラックの速度を決定します。
タップ・ボタン - 32 - をビートに合わせて4回タップすると計測ができます。

注意：本機のビート・カウンターはBPMが 80 と 160 に最適化されていますが、自動BPM計測を行う際にごく稀に BPM80を160BPMと計測することがあります。このような場合はタップボタンを使った手動での計測を行ってください。

5 セットアップ・ユーティリティ

5.1 メニューの構造

セットアップメニューを表示するには、以下の方法を行ってください。

USER SETUP：電源投入後に クロスフェーダー・スタート・スイッチ -11 - とフェーダー・スタート・スイッチ - 13 - を3秒以上押し続ける。
CLUB SETUP：電源を落とし、クロスフェーダー・スタート・スイッチ -11 - とフェーダー・スタート・スイッチ - 13 - を押しながら、電源を投入。

FXディスプレイ - 38 - に**「MASTER」**と表示されます。

タイムエンコーダー・ノブ - 30 - を回すと、各メニューを表示することができるので、調整したい項目が表示されたら、タイムエンコーダー・ボタン - 30 - を押します。

5.2 各メニューの説明

5.2.1 MASTER

マスター音声出力を「Stereo（ステレオ）」または「Mono（モノラル）」から選択することができます。タイムエンコーダー・ノブ/ボタン - 30 - を回し、決定する場合には押します。

5.2.2 LIMITER

マスター音声出力信号を、0db、-3db、-6db、-12dbから選択することができます。

5.2.3 USB OUT

USB ポート -56a- を経由してミキサーからコンピュータまで異なる入力信号を送ることができます。

CH1 (USB1/2)	CH2 (USB3/4)	CH3 (USB5/6)	CH4 (USB7+8)
CD (CH1 Control Tone)	CD (CH2 Control Tone)	CD (CH3 Control Tone)	CD (CH4 Control Tone)
LINE (CH1 Control Tone)	PHONO (CH2 Control Tone)	PHONO (CH3 Control Tone)	LINE (CH4 Control Tone)
REC	Post (CH2 Post Fader)	Post (CH3 Post Fader)	REC
MIC / AUX	REC	REC	MIC / AUX
None	MIC / AUX	MIC / AUX	None
	None	None	

5.2.4 FILTER RESPONSE

フィルター・ノブ - 5 - の感度を調整します。

5.2.5 CUE SET

モニタリング時の動作を調整します。
SOLO：選択された１つのチャンネルのみをモニタリングします。
MIX：選択された複数のチャンネルをモニタリングします。

5.2.6 TLKOVR（トークオーバー）

Micオン/オフ - 20 - スイッチ動作時の音声出力信号を、-6db、-12db、-18db、-24dbから選択することができます。

5.2.7 ISO XOVR（アイソレーター・クロスオーバー）

接続する機材に合わせて、EQのクロスオーバー帯域を HI または LOWから選択します。

5.2.8 MIC BTH（MICブース）

ON：MIC入力の音声をブース出力に送ります。
OFF：MIC入力の音声をブース出力に送りません。この設定にするとハウリング防止になります。

5.2.9 MIC LOW CUT

MIC入力の低域をカットします。

5.2.10 BTH SRC（ブース・ソース）

ブース出力に送るソースを選択することができます。

5.2.11 AUX GAIN COMPEBSATION

音源ソースの信号が低い場合（例えばスマートフォンなど）に AUX入力 - 43 - のゲインを上げることができます。

5.2.12 MIDI

MIDI機能のオン / オフ。MIDI信号の追加や削除ができます。

5.2.13 MIDI CH

MIDIチャンネルの１～15の範囲で選択できます。チャンネル16はUSBポートにて占有されています。

5.2.14 MIDI TYPE

MIDI信号のコントロールを TRIGGER または TOGGLEで制限します。

5.2.15 LED CHECK

本機の搭載された全てのLEDを点灯し、LED切れが無いかを確認できます。

5.2.16 FACT RST（ファクトリー・リセット）

セットアップ・ユーティリティで設定した状態を工場出荷状態（初期状態）に戻します。

5.2.17 FW UPDT（ファームウェア・アップデート）

ファームウェア・アップデート・モードを有効にします。USBポート - 56a - とコンピュータをUSBケーブルで接続し、モードを有効にします。本機はコンピュータにUSBデバイスとして認識され、ファームウェア・アップデート・ユーティリティ（PCソフト）からアップデートを送信することができます。

本機は USB ポート - 56a - とコンピュータを接続することで、本体ファームウェアを更新する機能が搭載されています。
本機の電源を切り、フェーダー・スタート・スイッチ -13 - と クロスフェーダー・スタート・スイッチ - 11 - を押しながら電源を投入すると、ファームウェア更新モードになります。

ファームウェアは常時更新されるので、Reloop およびディリゲントのサイトを常にチェックしたください。

1. 対応するファームウェア・プログラムを 製品紹介ページよりダウンロードします。
2. プログラム “ReloopFirmwareUpdate.jar” を起動します。
3. “Open File” をクリックし、最新のデータ (***.bin) を選択します。
4. “Start >” をクリックすると、ファームウェアの更新が開始されます。
5. 更新が成功したら、本機の電源を切ります。

以上の作業でファームウェアの更新は完了です。

5.2.18 ABOUT

現在のファームウェア・バージョンを表示します。

5.2.19 EXIT

セットアップ・ユーティリティを終了します。

6 Serato DJ と接続する

本機は Serato DJ 及び DVS にネイティブ対応しており、USBケーブルで接続するだけで利用が可能です。
serato.com 及び dirigent.jp にて最新のSerato DJ をダウンロードしてください。

6.1 ドライバのインストール

本機はMac OS X上ではクライスコンプライアンス対応デバイスのため、ドライバは必要としません。Windows上ではドライバーのインストールを必要としますので、Serato DJのインストール前にドライバをインストールしてください。

Mac：ドライバー不要

Windows：
www.reloop.com 及び dirigent.jp にて最新のドライバをダウンロードします。
ドライバ・インストーラをダブルクリックして、画面の指示に従ってインストールしてください。
インストール完了後に DJミキサーをリスタートしてください。

6.2 接続方法

DVSコントロールを行なう場合は、ターンテーブルと本機の PHONO入力(ch2 と ch3）に接続し、CDプレーヤーを使う場合は LINE/CD入力に接続してください。

PHONO入力：ターンテーブル（PHONO出力になっていることを確認してください）

LINE/CD入力：CDプレイヤーを接続してください。

インプット・セレクトを “USB” 位置にしてください。

Serato DJを起動し、「設定」→「オーディオ」のタブにて DVSソースとして認識されているかを確認してください。

7 技術仕様

名称：	**DVSインターフェイス内蔵4チャンネルDJミキサー**
電源：	**AC 100 - 240 V , 50 / 60 Hz**
寸法：	**322 x 387 x 107.5 mm (W x D x H)**
重量：	**7kg**

入力インピーダンス / リファレンス入力レベル：

LINE / CD / :	45K OHM / 0 dBV (1V)
PHONO：	47K ohm / -35dBV (3.16mV)
AUX：	45K ohm / -14dBV (200mV)
MIC 1：	5K ohm / -42dBV (1.99mV) (アンバランス)

出力インピーダンス / リファレンス出力レベル：

		Nominal	Limited
MASTER：	1K OHM / -2.2dBV (776mV)	± 1dB	± 2dB
BALANCED：	600 OHM / -2.2dBV (776mV)	± 1dB	± 2dB
BOOTH：	600 OHM / 0dBV (776mV)	± 1dB	± 2dB
REC：	1K OHM / -11dBV (281.8mV)	± 1dB	± 2dB
PHONES：	33 OHM / -13dBV 223.9V)	± 1dB	± 2dB

最大出力：

	Nominal	Limited
Master アンバランス：	MORE THAN +17.8 dBV(7.762 V)	MORE THAN +16 dBV(6.31 V)
Master バランス：	MORE THAN +17.8 dBV(7.762 V)	MORE THAN +16 dBV(6.31 V)
Booth バランス：	MORE THAN +17.8 dBV(7.762 V)	MORE THAN +16 dBV(6.31 V)
Phones：	MORE THAN + 6.8 dBV(2.188 V)	MORE THAN + 5 dBV(1.778 V)

最大入力：

	Nominal	Limited
LINE / CD /AUX：	MORE THAN +12 dBV	MORE THAN +11 dBV
PHONO：	MORE THAN - 23 dBV	MORE THAN - 25 dBV
MIC 1 / 2：	MORE THAN -30 dBV	MORE THAN - 32 dBV

周波数特性：

	Nominal	Limited
LINE / CD /AUX：	+ 1 / -1.5 dB	+ 2 / - 3 dB AT 0dBV INPUT
PHONO：	+ 1 / -2 dB	+ 2 / - 3 dB AT -50dBV INPUT(RIAA)
MIC 1 / 2：	+ 1 / -2 dB	+ 2 / - 3 dB AT -42 dBV INPUT
CD：	+1 / -1.5 dB	+ 2 / - 3 dB AT 0dBV INPUT

S/N 比：

	Nominal	Limited
LINE / CD /AUX：	83 dB	77dB AT 0 dBV INPUT
PHONO：	83dB	77dB AT -35 dBV INPUT
MIC 1 / 2：	70dB	65dB AT - 42 dBV INPUT

全高調波歪（THD + N)：

	Nominal	Limited
LINE / CD /AUX：	0.01 %	0.02% AT 0 dBV INPUT
PHONO：	0.02 %	0.05% AT - 35 dBV INPUT
MIC 1 / 2：	0.03 %	0.06% AT - 42 dBV INPUT
CD：	0.02 %	0.05% AT 0 dBV INPUT

クロストーク

	Nominal	Limited
LINE / CD：	90dB	80dB @EACH CHANNEL INPUT AT 0dBV INPUT
PHONO：	90dB	80dB @EACH CHANNEL INPUT AT -35dBV INPUT

8 MIDI MAP

SECTION	ITEM	TYPE	MIDI (HEX)		MIDI 2 (DEC)
CH1	INPUT	SW	9n	01	CD = 0, USB = 64, LINE = 127
	GAIN	VR	Bn	01	0-127
	HIGH	VR	Bn	02	0-127
	MID	VR	Bn	03	0-127
	LOW	VR	Bn	04	0-127
	FILTER	VR	Bn	05	0-127
	CUE	BTN	9n	02	OFF = 0, ON = 127
	Channel Fader	VR	Bn	06	0-127
	CF ASSIGN	SW	9n	03	A = 0, T = 64, B = 127
CH2	INPUT	SW	9n	04	CD = 0, USB = 64, PH = 127
	GAIN	VR	Bn	07	0-127
	HIGH	VR	Bn	08	0-127
	MID	VR	Bn	09	0-127
	LOW	VR	Bn	0A	0-127
	FILTER	VR	Bn	0B	0-127
	CUE	BTN	9n	05	OFF = 0, ON = 127
	Channel Fader	VR	Bn	0C	0-127
	CF ASSIGN	SW	9n	06	A = 0, T = 64, B = 127
CH3	INPUT	SW	9n	07	CD = 0, USB = 64, PH = 127
	GAIN	VR	Bn	0D	0-127
	HIGH	VR	Bn	0E	0-127
	MID	VR	Bn	0F	0-127
	LOW	VR	Bn	10	0-127
	FILTER	VR	Bn	11	0-127
	CUE	BTN	9n	08	OFF = 0, ON = 127
	Channel Fader	VR	Bn	12	0-127
	CF ASSIGN	SW	9n	09	A = 0, T = 64, B = 127
CH4	INPUT	SW	9n	0A	CD = 0, USB = 64, LINE = 127
	GAIN	VR	Bn	13	0-127
	HIGH	VR	Bn	14	0-127
	MID	VR	Bn	15	0-127
	LOW	VR	Bn	16	0-127
	FILTER	VR	Bn	17	0-127
	CUE	BTN	9n	0B	OFF = 0, ON = 127
	Channel Fader	VR	Bn	18	0-127
	CF ASSIGN	SW	9n	0C	A = 0, T = 64, B = 127
CROSSFADER	CROSSFADER	VR	Bn	19	0-127
MASTER	MASTER VOL	VR	Bn	1A	0-127
	MASTER BAL	VR	Bn	1B	0-127
	BOOTH	VR	Bn	1C	0-127
	BOOTH SW	SW	9n	0D	MN = 0, SR = 127
	CUE	BTN	9n	0E	OFF = 0, ON = 127
	EQ CURVE	SW	9n	0F	KILL = 0, CLASSIC = 127
FADER CURVE	CHANNEL CURVE	VR	Bn	1D	0-127
	CF CURVE	VR	Bn	1E	0-127
FADER START	CHANNEL START	BTN	9n	10	OFF = 0, ON = 127
	CF START	BTN	9n	11	OFF = 0, ON = 127
	FS CH 1	BTN	9n	12	FADER DOWN = 0, FADER UP = 127
	FS CH 2	BTN	9n	13	FADER DOWN = 0, FADER UP = 127
	FS CH 3	BTN	9n	14	FADER DOWN = 0, FADER UP = 127
	FS CH 4	BTN	9n	15	FADER DOWN = 0, FADER UP = 127
EFFECTS	CUE	BTN	9n	16	OFF = 0, ON = 127
	BEAT FX	ENC	Bn	1F	63~54
	BEAT FX (push)	SW	9n	28	OFF = 0, ON = 127
	CH SELECT	SW	9n	17	CH 1, OFF = 0, ON = 127
		SW	9n	18	CH 2, OFF = 0, ON = 127
		SW	9n	19	CH 3, OFF = 0, ON = 127
		SW	9n	1A	CH 4, OFF = 0, ON = 127
		SW	9n	1B	MIC, OFF = 0, ON = 127
		SW	9n	1C	CF A., OFF = 0, ON = 127
		SW	9n	1D	CF B., OFF = 0, ON = 127
		SW	9n	1E	MASTER, OFF = 0, ON = 127
	TIME	ENC	Bn	20	63~54
	BPM TAP	BTN	9n	1F	OFF = 0, ON = 127
	LEVEL DEPTH	VR	Bn	21	0-127
	FX ON	BTN	9n	20	OFF = 0, ON = 127
	BEAT (-)	BTN	9n	21	OFF = 0, ON = 127
	BEAT (+)	BTN	9n	22	OFF = 0, ON = 127
MIC/AUX	SOURCE	SW	9n	23	AUX = 0, MIC = 127
	MIC/AUX LEVEL	VR	Bn	22	0-127
	MIC2 LEVEL	VR	Bn	23	0-127
	HIGH	VR	Bn	24	0-127
	LOW	VR	Bn	25	0-127
	ON/OFF/TLKOVR	SW	9n	24	OFF = 0, ON = 64, TLKOVR = 127
	CUE	BTN	9n	25	OFF = 0, ON = 127
HEADPHONE	SPLIT	SW	9n	27	OFF = 0, ON = 127
	CUE EQ	VR	Bn	26	0-127
	CUE MIX	VR	Bn	27	0-127
	CUE LEVEL	VR	Bn	28	0-127

9 製品サポートについて

本書をご覧いただいても解決できない問題がございましたら、Dirigent カ スタマーサポートまでご連絡ください。
なお、サポート･サービスをご利用いただくためには、Dirigent へのユーザー登録が必要です。登録の確認ができない場合、サポート・サービスをご利用いただくことができません。予めご了承ください。

■Dirigentへのご登録方法：
Dirigentサポートページにアクセスし、Reloopオンライン登録フォームよりご登録をお願いいたします。

■Dirigentカスタマーサポート：
電話でお問い合わせの際は、Dirigent へのご登録確認のため、お名前・製品名・製品シリアルナンバーをお伺いいたします。また、メールでのお問い合わせは、Dirigent サポートサイトのお問い合わせフォームをご利用ください。

電話番号：03-6264-7818（受付時間：平日10:30〜17:00）
休業日：土日祝日および弊社特別休業日
Dirigentサポートサイト：https://dirigent.jp/support/